

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

January / 12 / 2018 # 58

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『大きすぎる』

[2] Pepeのひとりごと

『アンサンブル（室内楽）』

[3] おすすめ動画

『François Thuillier/ Tuba Bb solo』

『The Danish String Quartet & friends - Herfra min verden går』

[4] 演奏のヒント！

『金管楽器奏者の悩みの代表格』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『大きすぎる』

あけまして、おめでとうございます。

2018年も、よろしく願いいたします。 :D

12日にもなると、もうこういう挨拶もしなくなりましたね（笑）。

最近というか、1、2年前から気になっていたことなのですが、

トロンボーンや、トロンボーン・セクションでの音量について、
まだまだ日本では大きく吹き過ぎる傾向があるのだなあ、と感じる
ことがあります。

僕はヨーロッパで勉強、そして活動をしていたのでヨーロッパの
ことしかわかりませんが、ヨーロッパの人たちは大半が「音」を
常に「総合的に」意識しているように思います。

言い換えると、「音量だけ」を考えた音を出さない、ということです。

先日、New York Philharmonicの副首席奏者、Colin Williams氏が来日して
オーケストラ・スタディのレッスンもしていました。

その時も、「そんなに大きな音で吹かなくていい」と言っていました
(僕は動画で覗いただけなのですが)。

僕も、音色や響きがコントロールできないほど大きな音で吹くことは
ナンセンスだと思います。

ffやfffは、全力で吹くということではないと思うんですねえ。

大きな音量+アルファ（強さや硬さ、色など）があると思うんです。

それらも含めて音楽表現ができるようになりたいと僕自身は常に
思っていますし、そういう人たちが日本にも増えてもらいたいと
願っています。

[2] Pepeのひとりごと

『アンサンブル（室内楽）』

僕は、これまで「アンサンブルをたくさんやる」という環境には
いませんでした。

フランスにいた頃はいろいろとコンサートでやってはいましたが、
必要があるからやっていたという感じで、好きで集まっている曲に
チャレンジしてレパートリーを増やす、といった活動とは、
残念ながら縁がありませんでした。

個人的に、アンサンブルは好きなんですよ。:)

いろいろな楽器で集まってやるのも、同属楽器でやるのも、
どちらも好きです！

*今月の2つ目の動画で紹介したようなものをみると、自分もやってみたい！
っと強く思います。

先日も、少しだけですがTrombone仲間と急遽集ってアンサンブルを
やって、とっても楽しい時間を過ごしました。:D

今専門的に音楽を勉強している人たちには、ぜひアンサンブル（室内楽）の経験をたくさん積んで、アンサンブル能力を上達してってもらいたいと思います。

残念ながら、プロの中にもアンサンブルができない人がいるのが現状です・・・（涙）。
アンサンブル能力（センス？）は、経験で培っていくものだと思います。

最初からうまくできる人なんていませんよ！
怖がらないで、どんどんと経験を増やしていきましょう！！

[3] おすすめ動画

『François Thuillier/ Tuba Bb solo』
<https://www.youtube.com/watch?v=yflwnilEi2E&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=2>

今回1つ目の動画は、フランスのTuba奏者、François Thuillier氏の即興演奏です。

久しぶりにこういうのを聴きましたが、格好いいですよねぇ～！ :D
僕は自分でこういうのはできないので「聴く」専門なのですが、こういうのも大好きです！

ちなみに、フランスのTuba吹きには、こういうのがすごく上手な人が多いんですよ。
パリ管弦楽団のStephaneも、すごくかっこいい即興演奏をします！ ;)

『The Danish String Quartet & friends - Herfra min verden går』
https://www.youtube.com/watch?v=9P042gwDm_U&index=18&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg

2つ目の動画は、室内楽の動画です。
このように、弦楽器と一緒にアンサンブル（室内楽）にはとっても興味があります。

金管楽器と弦楽器、合うんですよ。 :D
機会があればぜひいろいろなことをやってみたいと思っています！

[4] 演奏のヒント！

『金管楽器奏者の悩みの代表格』

金管楽器吹きの人にとって、一度はみんな経験したことのある悩みの代表格は、高音域のことだと思います。

もちろん僕も例に漏れず、これまでに数えられないくらい高音域については悩み苦しみ、いろいろなことを教えてもらっているいろいろなことを試していきました。

先日のレッスンのときにも、高音についての質問があり、それについて一緒にやっていました。

ここで高音の練習について書くとすごく長くなるし、なかなかうまく伝えられる自信がないのでやりませんが（笑。気になる人は、ぜひレッスンを受けに来てくださいね）、高音域については、感覚的な、そして肉体的な「慣れ」も重要になってくると僕は考えています。

先日のレッスンのときにも、この考えに基づいてレッスンを進めていったのですが、レッスンを受けに来てくれた人は、「これまでほとんど出したことのない高い音を、連続して吹き（当て）続ける」という、人生で初めての経験をしてくれました。 :) ;)

極端に吹き方がよくない場合などを除いて、多くの場合は高音は出せる状態にあるんだと思います。

やることは、その音をまず出すこと。

「どのような音を出すか」といきなり考えないで、まずはただ「その音を出す」ことを考えてやってみましょう。

どのような音（たとえば汚い音）であろうが、その目的とした音が出れば、あとはそれを続けて出してください。

そうすれば、感覚的にも肉体的にも「慣れ」てきて、その先でそうすればいいのかも自ずと見えてきたりしますよ。 :)

編集後記

2018年、最初のメールマガジンです。

みなさん、年末年始はどのように過ごしましたか？

僕は、自分の理想通り、特別な感じは特になく、「平和」な過ごし方ができました。 :)

あ、楽器もこの期間に洗うことができました～。

なんだか毎年箱根駅伝をやっているときに洗っている気がします

(今年は箱根駅伝ではなく「逃げ恥」の再放送を見ながら洗いましたが。笑)。

今年の1月はじめはゆったりと過ごすことができましたが、今週から2月いっぱいまではかなりハードなスケジュールとなっています。

手洗い、うがいをしっかりとして体調管理に気をつけながら、元気に乗り越えていこうと思っています。

みなさんも、体調には気をつけて、楽しく過ごしていきましょうね～！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>